



公民館
こどもクラブ
冬休みに公民館こどもクラブを開催しました。君津高校のお兄さん、お姉さんとたくさん遊びました。次回の開催をお楽しみに!!

努力を惜しまず
現在はスマホを主体とする情報伝達技術の進歩により生活様式が変貌しつつあります。高齢者には社会から取り残されかねない状況であることを認識し、生涯学習交流センター(君津中央公民館)のご支援の下、パソコン、スマホによる情報伝達操作の講座を定期的



村上 幸夫さん

に開催しています。コロナ禍で集まることが出来ない中、文化祭ではオンライン公民館参加のためのZOOM講座、及び自宅でのフォローも実施しました。利用するパソコン・スマホの種類が豊富、最新マニュアル不足が学習の弊害となっています。この状況を踏まえて追従するためには、生活の中で情報を活用する習慣をつける必要があります。知らないことは自ら調べる意欲を持つことです。講座開催を通じて、そのための努力は惜しみません。



今後も、スマートフォンやZOOM等のIT講習会を開催予定です。詳細については、「広報きみつ」等でお知らせします。



ゆみこのおしゃべりたいむ

家庭教育指導員 山村由美子

千葉県金融広報委員会から講師を招き君津中央・周西家庭教育学級が開催された。「お小遣いはどんな与え方が良いのですか?」「買いたい物をすぐ買ってしまおうのですが。」「祖父母に高額なお年玉をもらうので困っています。」等、お金の悩みは尽きない。お金は大人が働いて得るものであることを教えると共に病院やお店などで支払った明細書を見せながら社会の仕組みを伝えたい。お小遣いについて解決のカギは、家族会議。家族みんなで価値観を共有し話し合いによってルールを作ることが大事であると教えていただいた。そして子ども自身が計画を立ててお小遣いを管理することが、我慢やくりや工夫を経験し、

お金を上手に遣う知恵と自性が育つのだ。月一回、お小遣い帳をチェックすることも忘れてはならない。無駄遣いの失敗も勉強である。反省や分析を丁寧に行い、次への目標を持つことが重要となる。家族の絆を深めると共に、お金は幸せな人生を送るための大切な道具であることを子どもに伝えていくことができるだろう。祖父母からのお年玉は、お礼の手紙を書くなど、感謝の気持ちを持たせたい。

編集後記

つら〜い花粉の季節ですね。花粉が飛散する映像を画面越しに見るだけでなく、しゃみがでそうになります。どうぞ皆様お体に気をつけてお過ごしください。(比)

きみつの風景

Vol.9

～水ぬるむ～



写 楽
メジロ(中富)



君津写真サークル
成願寺の堰